

1. 研究目的

本研究の目的は、株式会社ヒナプロジェクトが運営する小説投稿サイトである「小説家になろう」の作品と書籍の両方に対応した読書管理アプリケーションを製作することである。その上で、本棚の管理や読書のデータなどの自己完結する機能だけでなく、ユーザー同士の交流ができるSNSとしての機能も実装する。それにより、なろう小説と書籍を読むユーザーに、より快適な読書ライフを提供することが目的である。

2. アプリケーション概要

本研究で構築した Web アプリのトップページを図 1 に示す。本アプリはページ数が多いため、画面上部にヘッダーを表示し、トップページ、タイムライン、通知、本の検索、読書の履歴、プロフィール、その他の 7 つのボタンを配置することで、ページ遷移が容易にできるようにしている。トップページには登録数ランキングとユーザーの本棚を表示している。



図 1 トップページ

3. 機能説明

今回実装した主な機能は、本の検索機能、本を管理する機能、読書の記録を表示する機能、本のレビュー機能、プロフィール機能、タイムライン機能、通

知機能の 7 つである。ここでは、プライベートな機能の中心であるユーザーの本棚と、ユーザー同士の交流の中心であるレビュー機能について説明する。

ユーザーの本棚は図 1 のトップページに表示されているものである。本の書影が並んでおり、左上に 3 つのアイコンが表示されている。アイコンは左から、読書登録、お気に入りの一冊登録、本棚から削除のボタンである。これらのボタンを使って本の状態を管理することができる。

本の詳細ページを図 2 に示す。レビューは、本の書影を押すと遷移する本の詳細ページで行うことができる。左側に本の詳細情報、右側にレビューを表示している。右上のテキストボックスからレビューを入力し、投稿することができる。

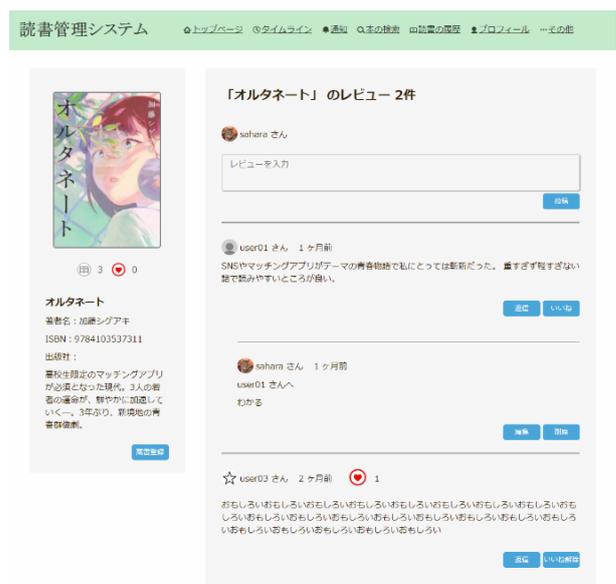


図 2 本の詳細ページ

4. 結論

当初の目的であった、なろう小説と書籍の両方に対応した読書管理アプリケーションを製作することができた。読書管理の類似サービスは多く存在するが、小説家になろうと書籍に対応したものはないため、他サービスとの差別化はできている。実際に運用するまでには至らなかったものの、多機能で実用的なアプリケーションが完成した。